



2024年2月期 第2四半期決算の詳細は、
セブン＆アイHLDGS. WEBサイト「IR資料室」へ

2024年2月期 第2四半期 決算概況

外的環境要因の影響を受けながらも、 営業利益は過去最高益を達成



主な事業セグメント別営業利益

国内コンビニエンスストア事業

2023年2月期
第2四半期
1,267億円 ▶ 2024年2月期
第2四半期
1,385億円
伸び率 +9.3%

■ セブン・イレブン・ジャパン 営業利益前期差：+123億円
[主な増減要因] 収入+212億円、荒利率+40億円、販売管理費-130億円
高齢化や単身世帯・働く女性の増加やコロナ禍を通じて顕在化したお客様の購買行動の変化に対応すべく、ファスト・フードなどのオリジナル商品やセブンプレミアムの開発強化、取り扱いアイテム数増加を図る売場レイアウトの変更、イベント感を演出する販売促進およびデリバリーサービス「7NOW」の全国展開に向けた取り組みを推進しました。これらの結果、チェーン全店売上は前年を上回り、営業利益は1,389億円(前年同期比109.7%)となりました。

海外コンビニエンスストア事業

2023年2月期
第2四半期
1,155億円 ▶ 2024年2月期
第2四半期
1,128億円
伸び率 -2.4%

■ 7-Eleven, Inc. 営業利益前期差：+4.7億円(うち為替影響：+146億円)
[主な増減要因] 収入+395億円、荒利率+226億円、販売管理費-617億円
品質の高いオリジナル商品の品揃え強化やデリバリーサービス「7NOW」の取り組み強化、デジタル技術の活用による顧客ロイヤリティ向上に努めました。これらの結果、米国内既存店商品売上は前年を上回ったものの、ガソリンの価格下落と販売量減少により、チェーン全店売上は前年を下回りました。一方、商品荒利率改善および為替レート変動にともなう影響などにより、営業利益は1,666億円(同100.3%)となりました。

スーパースタ事業

2023年2月期
第2四半期
43億円 ▶ 2024年2月期
第2四半期
44億円
伸び率 +2.9%

■ イトーヨーカ堂 営業利益前期差：-11億円
[主な増減要因] 収入-10億円、営業総利益率-0.2億円、販売管理費-1.3億円
収益性改善に向けた変革施策として、セブン＆アイグループ初の共通インフラであるPeace Deli流山キッチンやネットスーパー新横浜センターが稼働しました。当該期間は人流回復を主因に既存店売上が前年を上回り、営業損失は28億円(前年同期は16億円の営業損失)となりましたが計画は達成しました。

■ ヨークベニマル 営業利益前期差：+3.0億円
[主な増減要因] 収入+26億円、荒利率-2.5億円、販売管理費-20億円
既存店の活性化やデリカテッセンなどの開発強化、原材料価格高騰への適切な対応および販売促進が奏功し、営業利益は92億円(同103.4%)となりました。

金融関連事業

2023年2月期
第2四半期
193億円 ▶ 2024年2月期
第2四半期
199億円
伸び率 +3.3%

■ セブン銀行
国内ATM設置台数は27,071台(前連結会計年度末差182台増)となりました。預貯金金融機関の取引件数の回復、ノンバンク取引の増加などにより、1日1台当たりのATM平均利用件数は104.6件(前年同期差4.9件増)となりました。

2024年2月期連結業績予想 (10月12日修正)

	金額	伸び率
営業収益	11兆4,320億円	-3.2%
営業利益	5,250億円	+3.6%
経常利益	4,900億円	+3.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,300億円	-18.1%

グループ売上：17兆7,730億円*(伸び率-0.4%)

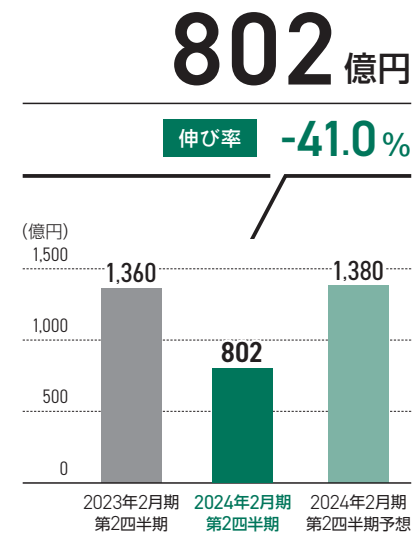
*セブン・イレブン・ジャパン、セブン・イレブン・沖縄および7-Eleven, Inc. における加盟店売上を含む
注) 為替換算レート：U.S.\$1=137.00円 1元=19.00円

利益配分に関する基本方針
1株当たりの配当金を安定的・継続的に向上させることを基軸としつつ、機動的な株主還元を検討し、総還元性向50%以上(2023年度から2025年度累計)を目指します。
なお、当期の配当金については中間配当金56・50円に加え、期末配当金56・50円、年間配当として1株当たり113・00円を予定しています。

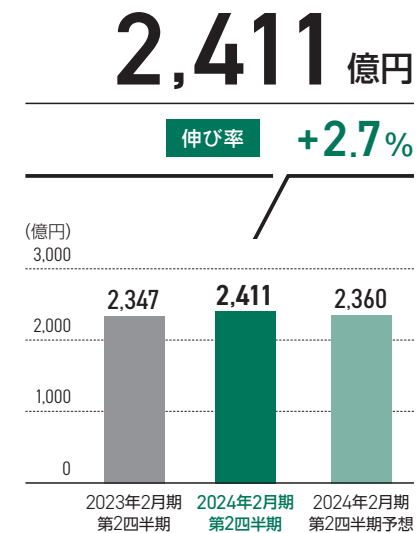
連結業績

(2023年3月1日～2023年8月31日)

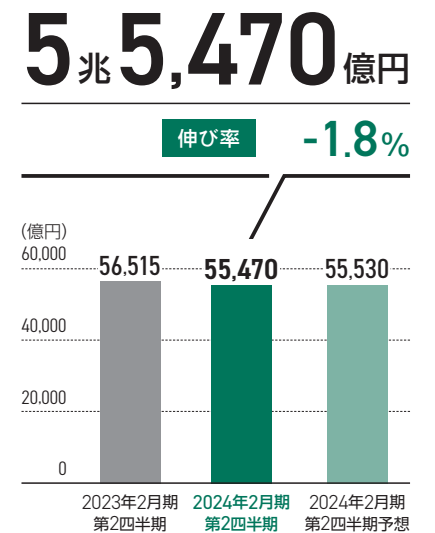
親会社株主に帰属する
四半期純利益



営業利益



営業収益



注) 1. 2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。
2. 2024年2月期第2四半期予想は期首予想となっております。

第2四半期業績概況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行するなど、行動制限の緩和がいつそう進み、経済活動の正常化による個人消費の持ち直しの動きが見られました。一方、エネルギーコストや原材料価格の高騰にともなう物価上昇や為替変動による影響に加え、世界的な金融引き締めによる景気への影響が懸念されています。北米経済は、引き続きインフレの進行と金融引き締めの影響により、景気減速が懸念されるなど、先行き不透明な状況となっています。

このような環境の中、当社グループは「セブン・イレブン事業を核としたグローバル成長戦略と、テクノロジーの積極活用を通じて流通革新を主導する、『食』を中心とした世界トップクラスのリテールグループ」を目指し、2023年3月9日にアップデートした中期経営計画における各事業戦略およびグループ戦略を推進しています。

その一環として、株式会社イトーヨーカ堂と株式会社ヨークは、首都圏のスーパーストア事業におけるシナジーおよび運営効率を最大化すべく、

2023年9月1日付で株式会社イトーヨーカ堂を存続会社とし株式会社ヨークを消滅会社とする吸収合併を完了しました。また、バンキング事業・ノンバンク事業の一体運営によるシナジーを追求するため、2023年7月1日付で当社の連結子会社である株式会社セブン・フィナンシャルサービスが保有する株式会社セブン・カードサービスの全株式を株式会社セブン銀行に譲渡しました。さらに、当社が保有する株式会社セグー・西武の発行済株式の全部をFortress Investment Group LLCの関連事業体たる特別目的会社である杉合同会社へ2023年9月1日付で譲渡しました。

グループの戦略的取り組みは着実に進捗し、当該期間における営業収益は外的環境要因などにより減収となったものの、営業利益、経常利益はそれぞれ過去最高益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、百貨店譲渡関連損失の計上などの影響により802億円(前年同期比59・0%)となりました。

なお、上期の実績をふまえて2024年2月期の通期連結業績予想を修正しました。



2024年2月期 第2四半期決算の詳細は、
セブン＆アイHLDGS. WEBサイト「IR資料室」へ

株式の状況

(2023年8月31日現在)

株式の総数

発行可能株式総数 4,500,000,000株
発行済株式総数 886,441,983株

株主数

79,223名

大株主

(千株) (持株比率)

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) ……………	126,766	14.3%
伊藤興業株式会社 ……………	70,701	8.0%
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口) ……………	52,308	5.9%
SMBC日興証券株式会社 ……………	34,184	3.9%
JP MORGAN CHASE BANK 385632 ……………	28,228	3.2%
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT ……………	19,366	2.2%
日本生命保険相互会社 ……………	17,672	2.0%
三井物産株式会社 ……………	16,222	1.8%
日本証券金融株式会社 ……………	15,852	1.8%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234…	14,080	1.6%

株主メモ

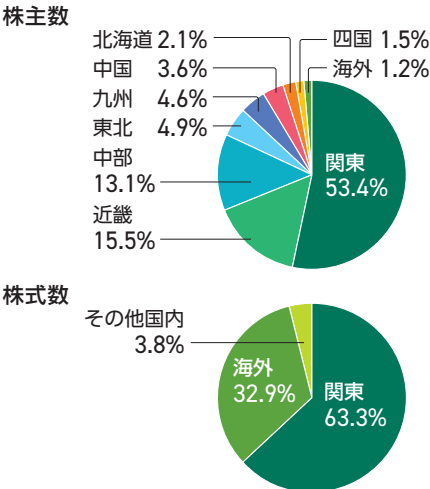
決算期	2月末日
定時株主総会	5月
定時株主総会の株主確定基準日	2月末日
配当基準日	2月末日および8月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 https://www.7andi.com/ir/koukoku.html 事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告ができない場合には、日本経済新聞 に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	3382
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711(通話料無料)

所有者別分布状況

() 内は構成比

株主数(名)	株式数(株)
金融機関	293,943,050 (33.2%)
179 (0.2%)	
金融商品 取引業者	70,650,548 (8.0%)
56 (0.1%)	
その他の 法人	149,142,204 (16.8%)
1,366 (1.7%)	
外国 法人等	291,078,066 (32.8%)
1,097 (1.4%)	
個人・ その他	81,628,115 (9.2%)
76,525 (96.6%)	
79,223 (100.0%)	合計 886,441,983 (100.0%)

所在地別分布状況



会社情報

会社概要 (2023年2月28日現在)

商号
株式会社セブン＆アイ・ホールディングス
設立
2005年9月1日
本店所在地
東京都千代田区二番町8番地8
資本金
500億円
従業員数
1,017名(連結 84,154名)

役員 (2023年8月31日現在)

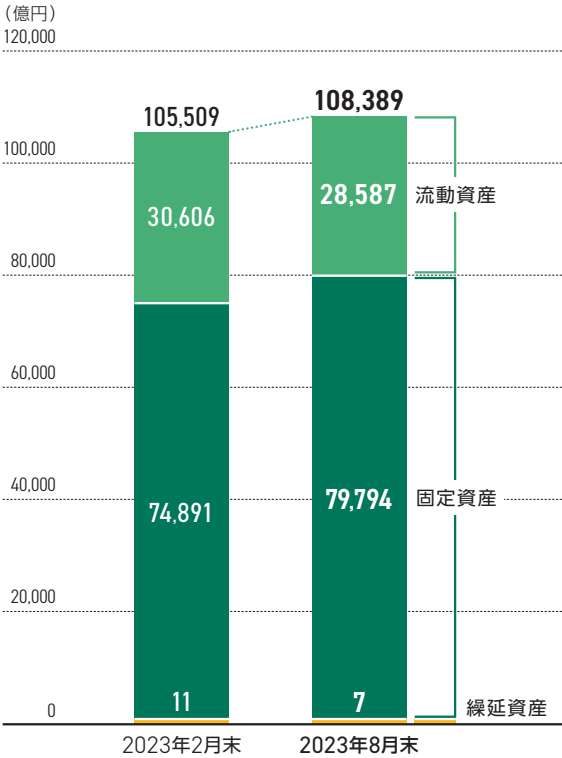
取締役	代表取締役社長	井阪 隆一	監査役	常勤監査役	幅野 則幸
	代表取締役副社長	後藤 克弘		常勤監査役	手島 伸知
	代表取締役	伊藤 順朗		監査役	原 一浩*2
	取締役	永松 文彦		監査役	稲益 みつこ*2
	取締役	ジョセフ・マイケル・デビント		監査役	松橋 香里*2
	取締役	丸山 好道			
	取締役	米村 敏朗*1			
	取締役	井澤 吉幸*1			
	取締役	山田 メユミ*1			
	取締役	ジェニファー・シムズ・ロジャーズ*1			
	取締役	和田 真治*1			
	取締役	八馬 史尚*1			
	取締役	ポール 与那嶺*1			
	取締役	ステイブン・ヘイズ・ディカス*1			
	取締役	エリザベス・ミン・マイヤーダーク*1			

*1 会社法第2条第15号に定める社外取締役

*2 会社法第2条第16号に定める社外監査役

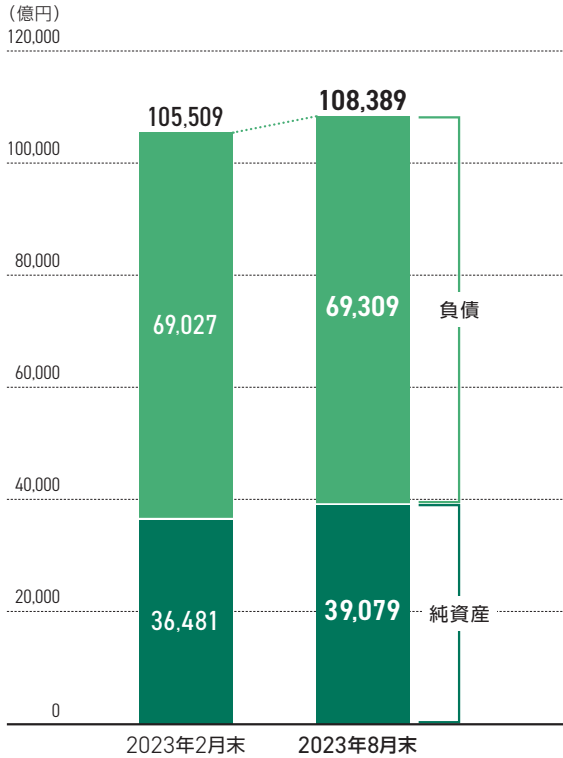
連結貸借対照表

資産合計



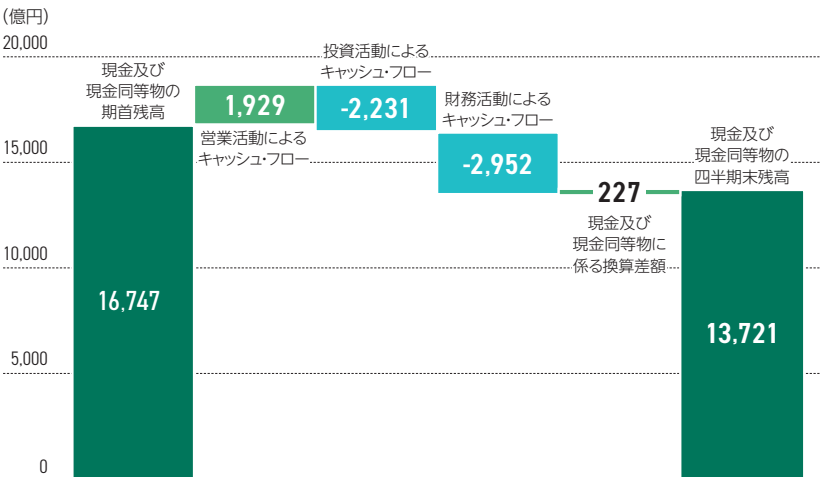
総資産は前連結会計年度末に比べ2,880億円増の10兆8,389億円となりました。流動資産は、主に社債償還等の有利子負債の返済による現金及び預金の減少により減少し、固定資産は、主に為替換算による有形固定資産の増加などにより増加しました。

負債純資産合計



負債は、百貨店譲渡関連損失引当金の計上などにより、前連結会計年度末に比べ282億円増加しました。純資産は、為替換算調整勘定の増加などにより、2,598億円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書



営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前四半期純利益の計上により1,929億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入があったものの、有形固定資産および無形固定資産の取得による支出等により2,231億円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還による支出等により2,952億円の支出となりました。以上の結果、現金及び現金同等物は、1兆3,721億円となりました。